

パーソントリップデータについて

1. パーソントリップデータとは

経済社会の営みは、「人」がいて初めて成り立つものであり、また、その「人」は都市や農村に住み、「移動」し活動しています。この「人（Person）の動き（Trip）」から都市を分析していくのがパーソントリップ調査（以下、P T調査）です。

P T調査は、「どのような人が」「どのような目的で・交通手段で」「どこからどこへ」移動したかなどを調べるものです。そこからは、鉄道や自動車、徒歩といった各交通手段の利用割合や交通量などを求めることができます。

2. 東京都市圏交通計画協議会

東京都市圏においては、日常的に一体的な経済、社会活動が行われている圏域として、東京を中心とした通勤交通圏域を1つのまとまりある都市圏としています。そして、P T調査を、昭和43年以降、10年ごとに実施してきており、平成20年10月～11月に第5回目の調査を実施されました。

○ 協議会構成

国土交通省関東地方整備局、東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、千葉市、横浜市、相模原市、川崎市、さいたま市、独立行政法人都市再生機構、東・中高速道路、首都高速

3. 第5回PT調査データの集計

(1) ゾーン分割（地区割）

○ 印西北部、印西南部、本埜村、印旛村

(2) 集計項目

- 目的種別別・代表交通手段別OD表

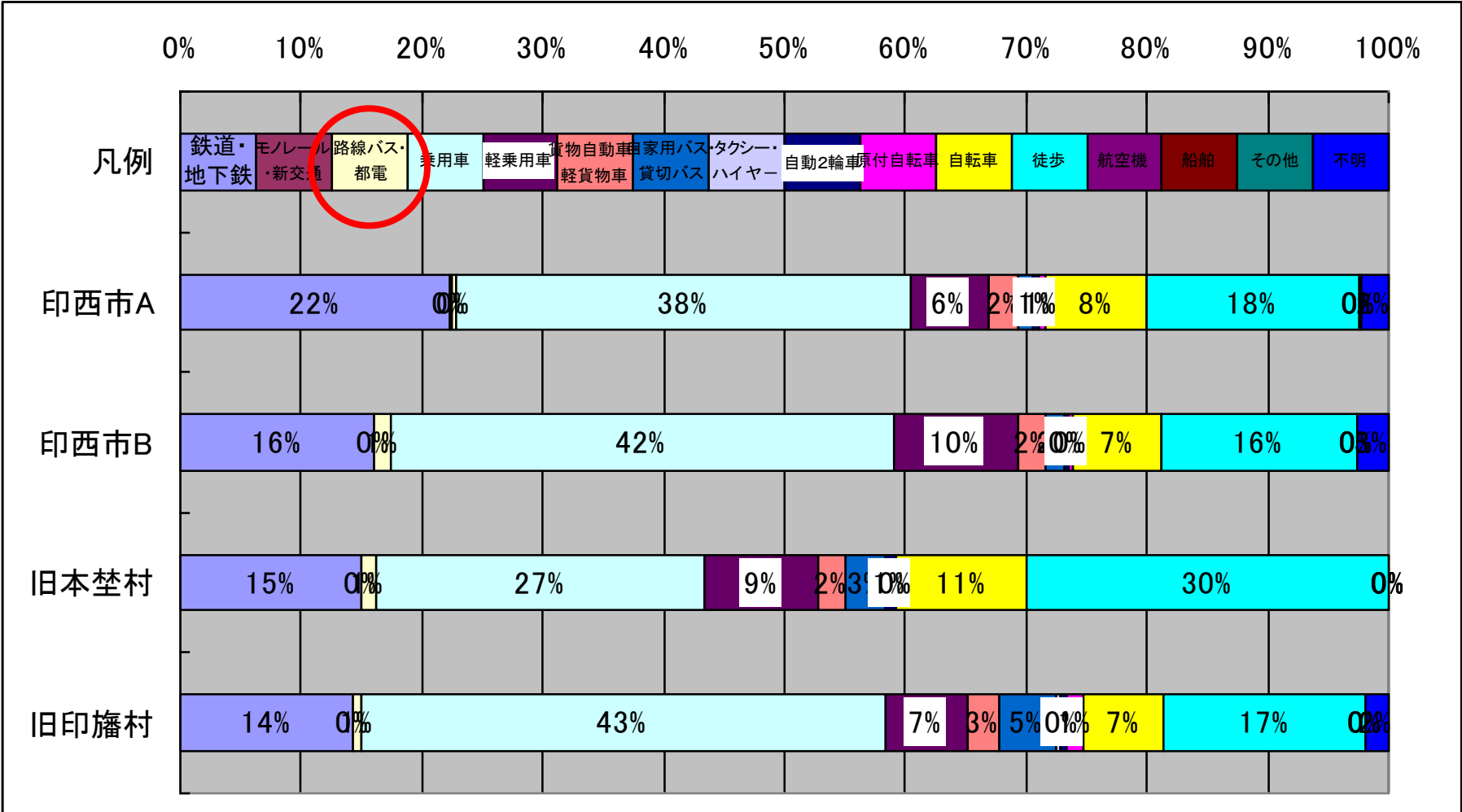
→ ① 地区別の移動手段

→ ② 地区別のOD（起点・終点）
- 鉄道駅別・乗降別・端末交通手段別トリップ数

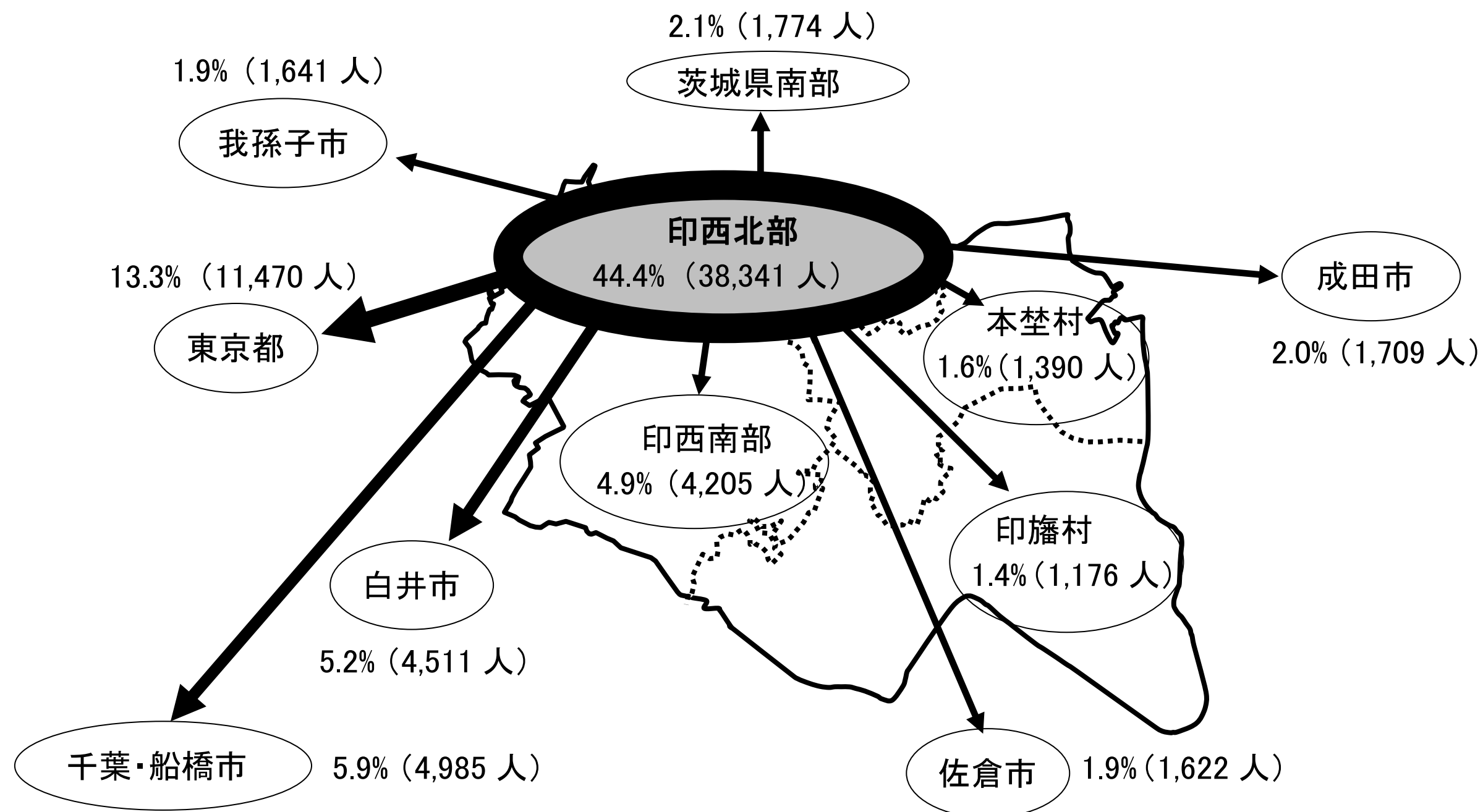
→ ③ 鉄道駅別の端末交通手段

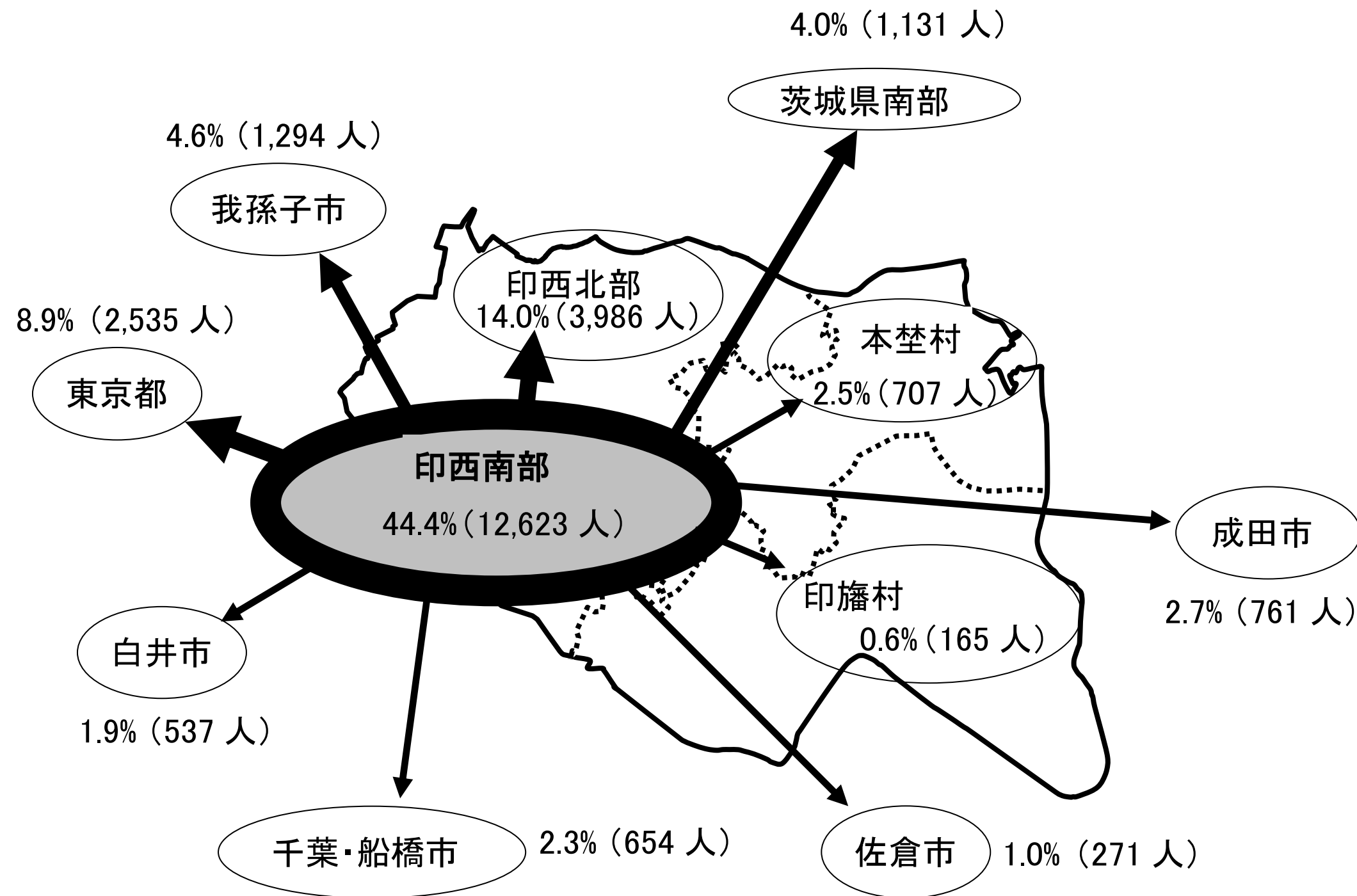
(3) 集計状況

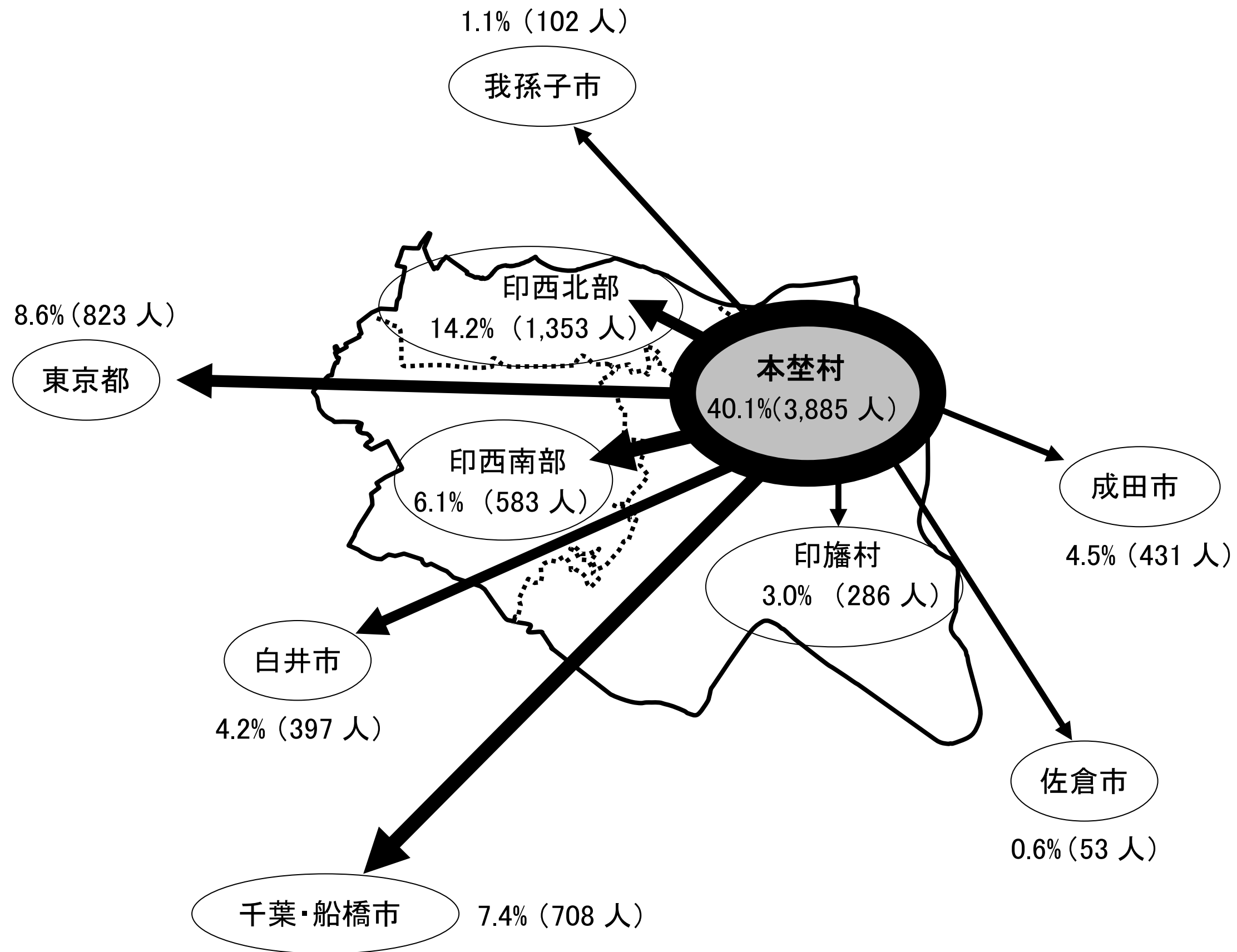
① 地区別の移動手段・・・バスの利用が少ない

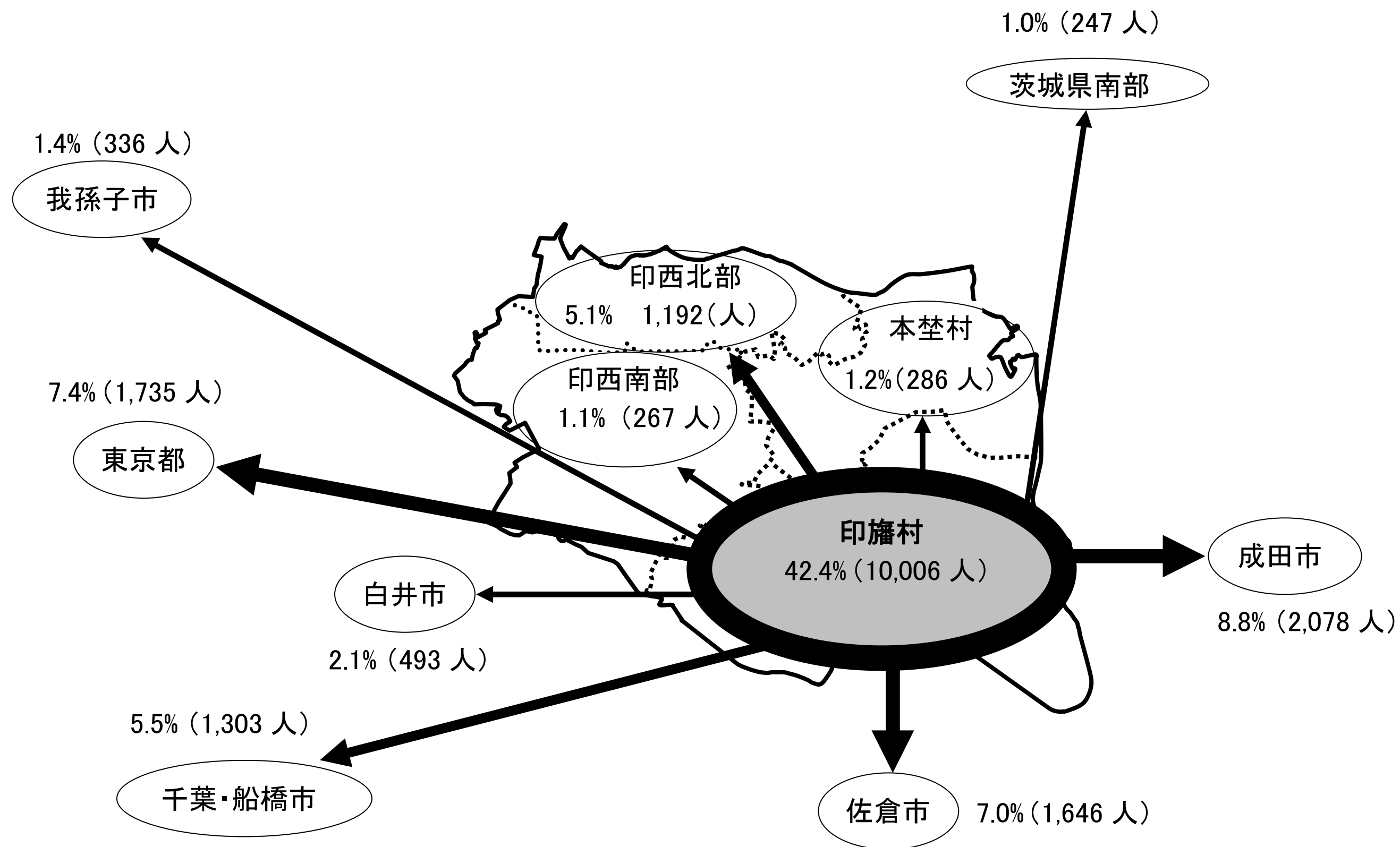


② 地区別の OD（起点・終点）・・・・・・・・地区内が 4 割、新印西市内の移動が 5～6 割









③ 鉄道駅別の端末交通手段 北総線はバス利用が JR 線に比べ高い

